

受付番号	7	受付月日	平成30年2月14日
			午前・午後10時7分

東郷町議会議長 井俣 憲治 殿

東郷町議会議員

議席番号16番 氏名 星野 靖江 ㊟

## 一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問したいので通告します。

記

No. 2 - 1

質問事項	質問要旨	答弁者
1 高年齢者の雇用の安定対策について	<p>(1) 全国シルバー人材センター事業協会の専務理事は、平成29年11月、台湾で開催された「高齢社会における人権の実現—自立と依存のバランス」のシンポジウムに出席し、「日本の高齢者就業シルバー人材センターの現状と課題」と題して講演されました。</p> <p>そこで、健康なシルバー世代が仕事や社会奉仕活動などを通じて、高年齢者の雇用安定の観点から質問します。</p> <p>① 定年退職者雇用安定法に基づいて、高齢社会に対応した就業の場づくりとして臨時的・短期的、またはその他の軽易な就業の提供など、健康で働く機会の要望に応えられる自立支援の現況は。</p> <p>② 定年退職後の第2・第3の人生を楽しく有意義に過ごしたいと願うが、会員の多様な要望に応えられるような仕組みが求められるが、主な事業分野における今後の課題は。</p> <p>③ 機関紙のスローガンに「働く喜び・深める絆 生涯現役で地域社会に貢献しよう」と掲げている事業所は、高齢者が長年培ってきた知識や経験・技能を活かそうと地域に根差した活動を推進しているが、就職あっせんのための組織ではない。そこで、行政との連携事業と考えた場合の対応は。</p>	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
<p>2 少子高齢社会とまちの図書館事業の将来計画について</p>	<p>(1) 子どもたちの読書環境を支える図書館は、絵本の読み聞かせだけでなく、子どもたちが公共の場所において、公共のマナーなどを学ぶ場所でもあります。</p> <p>また、高齢者施設では認知症効果に期待し、絵本や児童文庫本などを介して、入所者との読書タイムを楽しむボランティアが増加傾向にあります。</p> <p>そこで、少子高齢社会における図書館運営の観点からお尋ねします。</p> <p>① 子どもが知りたいこと等を記入し、図書館内の設置ポストに投函した場合、館長さんのコメントなどが伝言板に掲示されるような身近な「まちの図書館」活動に関する読書環境支援整備の考えは。</p> <p>② 子育て中の親子連れが、たくさんの絵本や児童書をカウンターに持込み、手続きをしているが、子ども図書選定に関する留意点と予算配分は。</p> <p>③ 図書館貸出総数を検証した場合、ジャンル傾向の割合と年齢層の特性は。</p> <p>④ 図書館は本と出合う場所であり、まちの文化度を示す物差しでもあるが、本町の独自性を活かした地域福祉と繋がる事業と捉えた場合、「認知症支援の蔵書コーナー」の整備計画は。</p>	<p>町長 教育長 担当部長</p>
<p>3 町誌再編纂の取り組みについて</p>	<p>(1) 町政施行50周年(平成32年)を節目に町誌の編纂を考えているようですが、町誌はそこに暮らす人々の生活や文化を記す作業のみならず、ふるさと東郷の歴史資料として、新たな歩みを生み出す貴重な文献と考え、お尋ねします。</p> <p>① 今後の計画や方向性に対する具体的な構想は。</p> <p>② 全庁における資料準備の着手や公文書の収集や整理など、各部局の協議による「町政編纂室」の設置の考えは。</p>	<p>町長 担当部長</p>

(注) 要旨は、具体的に記載すること。